

OCHIS

11枚目のポスター販売

「認知症対策」で安全向上

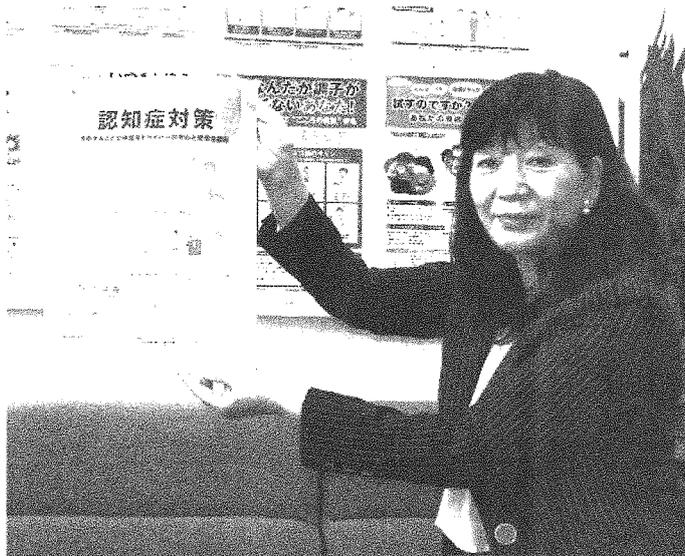
ヘルスケアネットワーク(OCKHIS)では1日から、健康管理・事故防止をテーマとしたポスターの11枚目となる「運転業務を守る! 就業寿命を延ばす!! 認知症対策」を販売し、早期対策を呼びかけている。内容が分かりやすく、社員に浸透しやすいと好評を博している。

OCHISは、2010年から腰痛対策、睡眠時無呼吸症候群(SAS)、薬物対策など様々なポスターを製作し、トラック運送事業者だけでなく、バスやタクシー事業者、病院、工場などでも採用されている。これまで約6万枚のポスターが活用されており、その中でも残酒対策に関するポスターの販売枚数は2万枚を超えたという。

11枚目のポスターは、認知症と軽度認知障害(MCI)の違い、対応あるいは電話による10分間の対話方式の「あたまの健康チェック」などを紹介。認知症はSASや生活習慣病で発症するリスクがあることから、多くの企業にとって無視できない内容だ。

作本貞子副理事長は、「日常生活に支障が出ない軽度認知障害の段階では、改善の余地がある。逆走やブレーキとアクセルの踏み間違いなどの高齢ドライバーによる事故が増える中で、職業寿命を延ばすためにも、あたまの健康チェックを

ポスターを説明する作本副理事長



検討していただけたら。働き盛りの世代が親の介護で離職を余儀なくされる事態も、今後増えることが懸念されています。50代、60代の人にも状態を把握してほしい」と説明する。テーマごとのポスターには、具体的な対策の内容が示されており安全会議・社員教育での活用のほか、事務所に張るだけでもドライバーや管理者の意識高揚が見込める。「どのポスターも、企業として早めの気づきと早めの対策が必要。ポスターの種類があり、サイズは縦468ミリ×横317ミリとなる。」(木村麻理奈)

また、別途料金が必要となるが、購入したそれぞれのポスター下段には自社の社名などを載せることも可能で、元請け会社などへのPRに加えて、協力会社に配ることで安全向上への取り組みも図ることが可能で、様々な活用ができる。

各ポスターは、通常版(厚紙)とパウチ加工版(ラミネート加工)の2種類があり、サイズは縦468ミリ×横317ミリとなる。

(木村麻理奈)